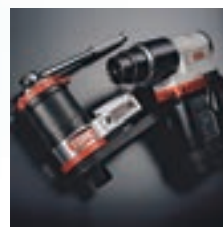
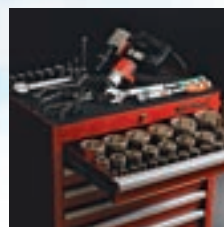
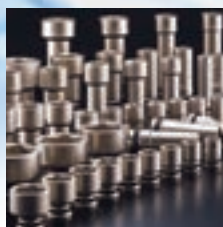
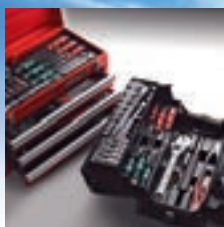


株主の皆様へ

第78期 報告書

平成24年6月1日から平成25年5月31日まで 証券コード：5967



前田金属工業株式会社

2013年11月1日
「TONE株式会社」に
社名変更いたします。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、当社グループはこのたび第78期（平成24年6月1日から平成25年5月31日まで）決算を終了いたしましたので、ここに事業の概要をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、欧州の金融危機問題や中国経済の成長鈍化などの影響により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。しかしながら、震災復興需要に加え、昨年末の政権交代による経済・金融政策への期待感により円安・株高基調に転じ、景気は改善の兆しがみられるようになりました。

このような経済状況のもと、当社グループは、「ポルト締結分野」での優位性をさらに高めるために、生産・出荷体制の刷新と新製品開発力の強化を目的に新工場を建設し、本格操業いたしました。また、新工場には実際に製品に触れていただくことができる体験型ショールームを設置し、お客様により一層当社の製品を知っていただき、理解を深めていただきますよう努めてまいりました。また一方で、国内外市場で信頼されるブランドの育成を最重要課題と位置付け「TONEブランド」の浸透・確立を図るために、品質の向上、お客様要望を的確に捉えた新規製品の開発と製品供給に努めてまいりました。さらに市場深耕を図るため特殊品受注をより一層推進するなど売上高の伸長に懸命な努力をいたしました。

その結果、作業工具の売上高は、緩やかながらも回復傾向にある個人消費・設備投資の増加などを背景に、24億5千4百万円となりました。機器類の売上高は、特殊品受注に加え、東南アジア向け輸出や北米市場の確かな回復にも支えられ17億5千3百万円となりました。従いまして当連結会計年度における売上高合計は42億8百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加を主因に改善することができ、さらに生産効率の向上を図り、経費圧縮に努め、原価低減活動を積極的に進めてまいりました結果、営業利益は4億8千万円（前年同期比24.9%増）、経常利益は5億2千6百万円（前年同期比31.3%増）となりました。

また、特別損失として退職給付制度改定損2千8百万円及びたな卸資産廃棄損3千8百万円を計上いたしました。特別利益として固定資産売却益8億1千2百万円を計上したことにより、当期純利益は9億3千6百万円（前年同期比254.7%増）となりました。

各セグメントの概要は、次のとおりであります。

国内におきましては、作業工具類ならびに機器類の売上に関して緩やかながらも回復基調がありますものの、依然として動きは不安定な状況の中、売上伸長に懸命な努力を傾注いたしました結果、売上



高合計は32億1千2百万円となりました。その内訳としては、西日本全体が15億6千2百万円（前年同期比7.0%増）、東日本全体が16億5千万円（前年同期比3.9%増）であり、ともに前年同期を上回りました。

海外におきましては、東南アジア市場を中心に作業工具類の売上が引き続き堅調に推移するとともに、北米市場の確かな回復を背景に機器類における売上も一部に本格的な回復基調が見受けられました。またさらに、新興国における新規市場開拓を積極的に推進することにより、輸出合計は9億9千5百万円（前年同期比20.9%増）となり、前年同期を大きく上回りました。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、経済対策や金融政策の効果により景気回復への期待感等に伴う景況感の改善は見られますものの、実体経済への波及効果は限定的となっております。

また、欧州債務危機や中国経済の減速など、依然として海外景気の下振れリスクも根強いことから、先行き不透明な状況が続くものと思われます。

当社グループといたしましては、広くお客様要望を先取りした新製品開発をすすめてまいりますとともに、徹底した原価低減により競争力の強化を図り、さらなる企業価値の拡大に努めてまいります所存でございます。

その他では、品質・安全性確保の徹底をはじめ、企業の社会的責任の重要性を認識し、環境に対する配慮、内部統制システムの構築、コンプライアンス(企業倫理)の徹底に取り組んでまいります。

現時点における通期の業績見通しといたしましては、連結売上高45億円、経常利益5億1千万円とし、当期純利益につきましては、3億1千5百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年8月

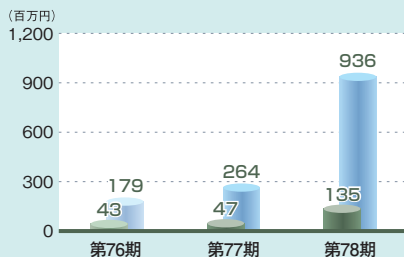
取締役社長 佐藤憲史

通期 第2四半期累計

売上高



当期純利益



1株当たり当期純利益



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期末 (平成25年5月31日現在)	前期末 (平成24年5月31日現在)
資産の部		
流動資産	3,572,525	2,631,028
固定資産	2,142,246	2,454,320
有形固定資産	1,408,456	1,476,919
無形固定資産	83,243	112,687
投資その他の資産	650,546	864,713
資産の部合計	5,714,772	5,085,349
負債の部		
流動負債	1,796,627	2,028,870
固定負債	1,028,971	1,204,467
負債の部合計	2,825,599	3,233,337
純資産の部		
株主資本	2,764,544	1,883,505
資本金	605,000	605,000
資本剰余金	163,380	163,380
利益剰余金	2,365,688	1,518,365
自己株式	△369,525	△403,240
その他の包括利益累計額	124,628	△31,494
その他有価証券評価差額金	124,628	△31,494
純資産の部合計	2,889,173	1,852,011
負債及び純資産の部合計	5,714,772	5,085,349

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 [平成24年6月1日から 平成25年5月31日まで]	前期 [平成23年6月1日から 平成24年5月31日まで]
売上高	4,208,320	3,872,252
売上原価	2,579,805	2,441,483
売上総利益	1,628,515	1,430,769
販売費及び一般管理費	1,147,745	1,045,865
営業利益	480,769	384,903
営業外収益	64,562	34,583
営業外費用	18,433	18,101
経常利益	526,899	401,385
特別利益	812,464	—
特別損失	67,308	122,008
税金等調整前当期純利益	1,272,054	279,377
法人税、住民税及び事業税	335,177	15,223
少数株主損益調整前当期純利益	936,877	264,153
当期純利益	936,877	264,153

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期 [平成24年6月1日から 平成25年5月31日まで]	前期 [平成23年6月1日から 平成24年5月31日まで]
営業活動によるキャッシュ・フロー	323,922	306,163
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,219,142	△355,562
財務活動によるキャッシュ・フロー	△961,328	△22,066
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	586,132	△71,465
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,395	—
現金及び現金同等物の期首残高	190,181	261,646
現金及び現金同等物の当期末残高	776,313	190,181

会社の概要

商号	前田金属工業株式会社 Maeda Metal Industries,Ltd.
創業	大正14年1月
創立	昭和13年8月6日
組織変更	昭和24年7月27日
資本金	605,000,000円
従業員数	連結 126名(平成25年5月31日現在)

役員 (平成25年5月31日現在)

取締役社長	佐藤 憲史
常務取締役	松村 昌造
取締役	矢野 大司郎
取締役	平尾 昌彦
常勤監査役	池田 澄朗
社外監査役	山上 和則
社外監査役	滝川 雄吉

ホームページのご紹介



当社ホームページでは、新製品・展示会などの情報を掲載しています。
是非ご覧いただき、皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

<http://www.tonetool.co.jp/>

事業所

本社 〒556-0017 大阪市浪速区湊町二丁目1番57号
TEL (06) 6649-5967

河内長野工場 〒586-0026 河内長野市寿町6番25号
TEL (0721) 56-8721

富田林工場 〒584-0023 富田林市若松町東三丁目3番6号
TEL (0721) 25-9605

国内営業部

札幌営業所 〒007-0840 札幌市東区北40条東十九丁目2番12号
TEL (011) 782-4544

仙台営業所 〒984-0037 仙台市若林区蒲町字原田南32番1号
TEL (022) 282-2161

新潟営業所 〒955-0056 三条市嘉坪川一丁目2番29号
TEL (0256) 36-6875

東京営業所 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿二丁目27番24号
TEL (03) 3446-3911

名古屋営業所 〒464-0850 名古屋市千種区今池二丁目2番36号
TEL (052) 741-0043

大阪営業所 〒556-0017 大阪市浪速区湊町二丁目1番57号
TEL (06) 6649-5982

広島営業所 〒731-0111 広島市安佐南区東野一丁目18番21号
TEL (082) 832-3171

福岡営業所 〒812-0893 福岡市博多区那珂三丁目27番17号
TEL (092) 411-7125

海外部 〒556-0017 大阪市浪速区湊町二丁目1番57号
TEL (06) 6649-5984

75周年特集

これからのTONE ~75年の節目に~

おかげさまで設立75周年、株式上場50周年

おかげさまで前田金属工業株式会社は2013年に設立75周年、株式上場50周年を迎えました。

これもひとえに、「TONE」ブランド製品にご愛顧いただきました皆様方の温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

前田金属工業株式会社は1938年の設立以来、常にお客様に「満足」と「感動」、そして期待以上の「価値」を提供したいという思いのもと、ボルディング・ソリューション・カンパニーとしてあらゆる「ボルト締結」に最適な手段を提供することを使命としてきました。

そして、75年目の節目にあたり、もう一度この使命を心に刻み、これからも“ものづくり”に徹して社員一同、鋭意努力する所存でございます。

これからも「ものづくり」に徹底してこだわり、お客様に「満足」「感動」「価値」をお届けします。

おかげさまで75周年
株式上場50周年

75th
Anniversary

2013年11月1日より、「前田金属工業株式会社」は、「TONE株式会社」に社名変更いたします。



会社名：TONE株式会社
英文社名：TONE CO., LTD.

これまでの75年の歴史を振り返り、この節目で決して満足することなく、更なる取り組みが必要だと考えます。

この度、社名をブランド名「TONE」に一致させることで、ブランド力の強化を図るとともに、「スピード化」「ものづくりへのこだわり」「より多くの人へ」という3つの取り組みを明確にし、切磋琢磨してまいります。

ひとつひとつのボルト締結によって、大きな構造物が形づくられるように、ひとつひとつの積み重ねが、これからのTONEを築いてまいります。

ベトナム社会主義共和国・ドンナイ省に 現地法人設立「TONE VIETNAM CO.,LTD.」

当社では、海外事業の展開として、最重要施策であるグローバル展開・戦略の構築が必要となっております。そこで、今後のASEAN地域での増大する収益機会を確実に捕捉するため、ベトナム社会主義共和国・ドンナイ省に100%出資の子会社「TONE VIETNAM CO.,LTD.」を設立し、同地に生産拠点を建設して新たな事業展開を図ることにいたしました。新工場は2015年6月の本格操業開始を予定しております。



トピックス

Exhibition

■「JIMTOF2012 第26回日本国際工作機械見本市」に出展

アジア最大級の工作機械見本市「JIMTOF2012」が、2012年11月1日から11月6日までの6日間、東京ビッグサイトで開催されました。

当社ではトルク管理への関心が高まる中、大小様々なトルク管理製品群を提供できる総合工具メーカーである強みを活かし、新製品のラチェットデジタルトルクをはじめ、トルクグリップ、ハンディデジタルトルク、NCトルコンのデモ展示や製品展示を行い、常にブースには多くの人が集まりご好評をいただきました。



New Product

■ スクリューランナー「SCR101/SCR102」

インパクトレンチや攪拌専用機などでの早回し作業に代わる高速回転レンチ「スクリーランナー」をリリースいたしました。

ボルト・ねじ類のねじ込み・送り、ウォームギアなどのねじ送り、各種機械・装置の回転体の位相合わせ、水門・扉開閉用ハンドルの送り、流体等の攪拌などの多用途に使用が可能であり、回転操作の省力化や作業環境・効率の改善に活用いただけます。



■「ラチェットデジタルトルク」

産業工場での組立作業から、大型トラック・自動車や一般産業機器およびプラントのメンテナンス作業まで、幅広いトルク管理締付けの作業に対応するボルト・ナットのトルク管理締付けに最適なデジタル式トルクレンチ「ラチェットデジタルトルク」をリリースいたしました。

最小6N・mから最大850N・mまで、能力別に全9機種をラインアップ。

2種類の測定モードに切替が可能であり、従来のプレセット形トルクレンチやダイヤル形トルクレンチと同様の締付け方法を1本で対応いたします。また、締付合否判定や測定値保存などの機能も搭載しております。



株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月
基準日	定時株主総会の議決権 5月31日 期末配当 5月31日 中間配当 11月30日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
各種お問合せ先 郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8583大阪市中央区北浜二丁目4番6号 TEL 0120-255-100 (通話料無料) ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公告方法	電子公告 http://www.tonetool.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
証券コード	5967

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。

TONE® 前田金属工業株式会社

〒556-0017 大阪市浪速区湊町二丁目1番57号

この報告書に関するお問合せは下記までお願いします。
管理部 TEL.06-6649-5967
<http://www.tonetool.co.jp/>